

## 社名 & 物語

### ツバメ食品

ウスターソース「ツバメソース」を京都市南区東九条西明田町で製造している。株式会社化した1950年に現社名となった。戦前、戦後に活躍した特急「つばめ」(30年の誕生時は「燕」)にちなむ。

初代社長の故勝田啓二郎さんが30年、現本社よりも東寺に近い九条大宮下ルで創業した。勤めていた京都の呉服店の東京支店から戻り、「何か自



分で商売をしたい」と友人に相談すると、洋食関連を勧められ、ソースの製造法を一人で学んだ。

創業時からツバメソースを販売した。マークも啓二郎さんが作った。しよいうゆや酢も作っていたという。

ツバメソースの名称は33年、商標権の問題で使用を中断した。東寺・五重塔にちなむ「タワソソース」、由来の詳細は不明の「HKソース」とし

て営業を続けた。36年に解決後、41年に現在地に移転、50年の株式会社設立に至った。

社名には、2本のレールに蒸気機関車を走らせ、「安心」「安全」を第一に、レールを延ばし続けていく、との思いが込められている。啓二郎さんのおいに当たる5代目社長の勝田裕さん(67)は「後継者はレールつまり商売をのばしていくことに力を入れろ、ということだ」と話す。

(矢ヶ村尚幸)

## 「安心」と「安全」を未来へ